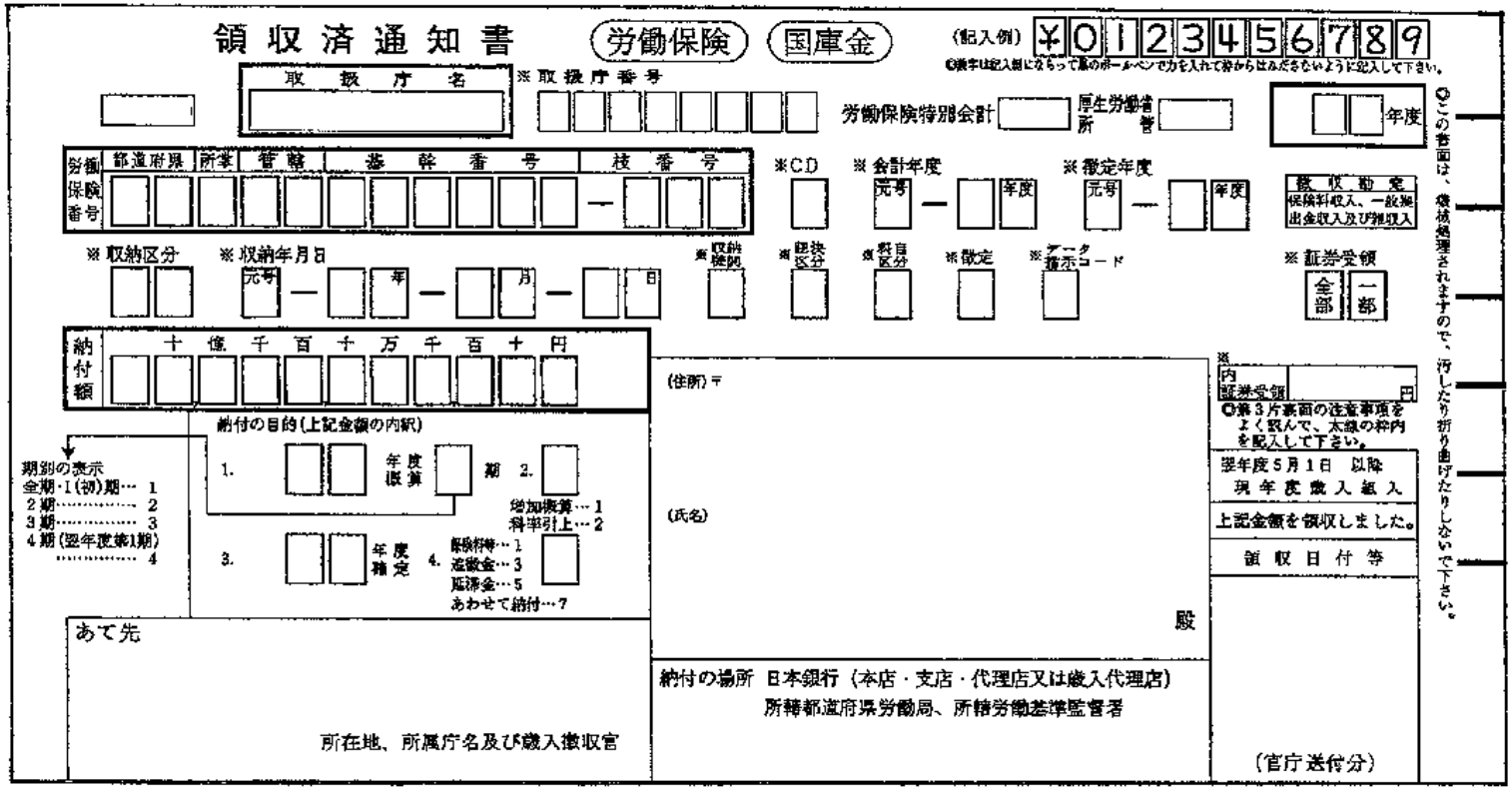
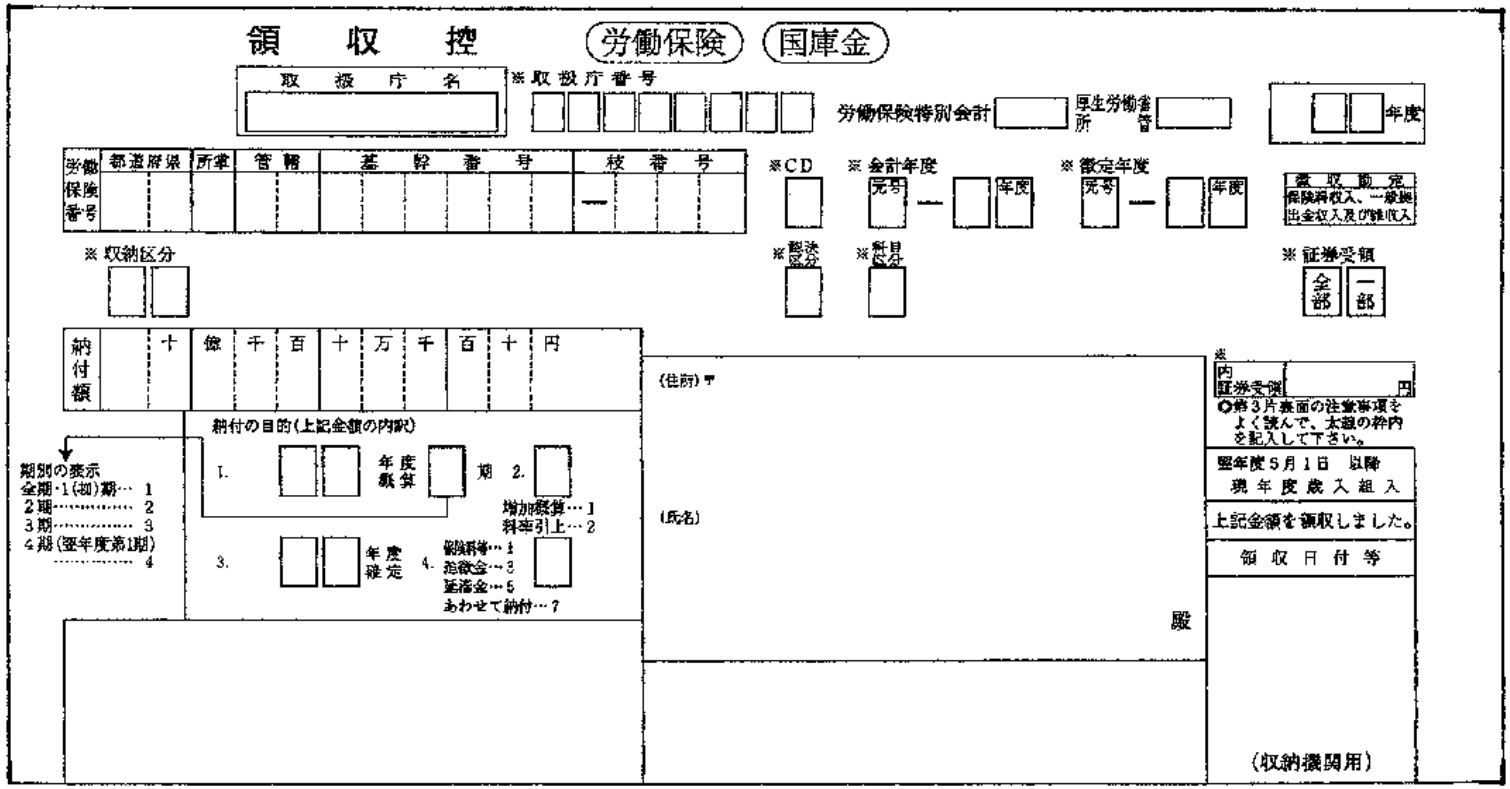
別紙第４号の13書式　（平19財令27・全改、令２財令73・一部改正）

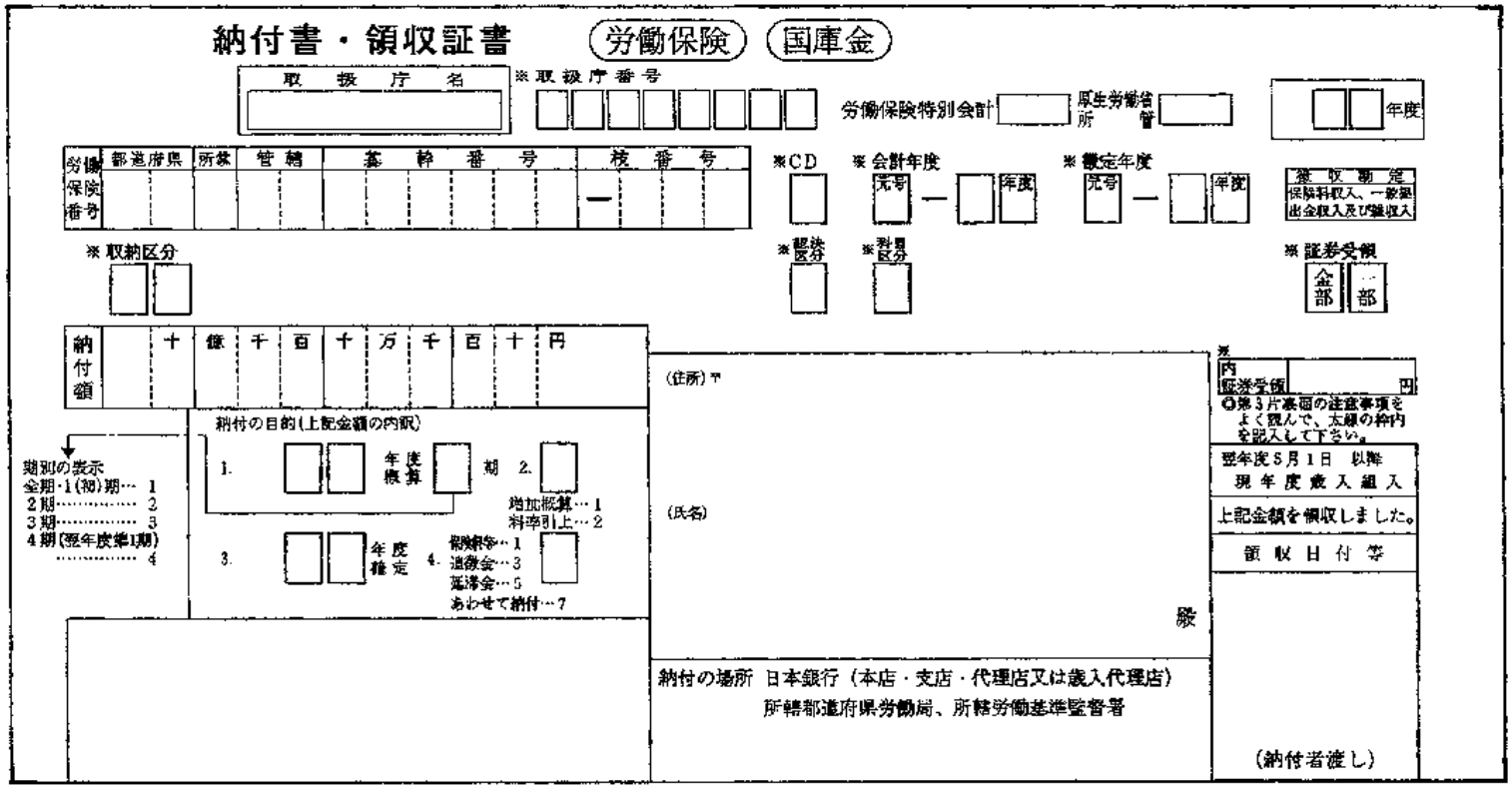
第一片



第二片


領収控
労働保険
国庫金
取扱庁名
※取扱庁番号
労働保険特別会計
厚生労働省所管
年度
労働保険番号
都道府県
所掌
管轄
基幹番号
枝番号
※CD
※会計年度
元号
年度
※徴定年度
元号
年度
徴収勘定
保険料収入、一般拠出金収入及び雑収入
※収納区分
※歳法区分
※科目区分
※証券受領
全部
一部
納付額
十
億
千
百
十
万
千
百
十
円
(住所)〒
※
内
証券受領
円
○第3片裏面の注意事項をよく読んで、太線の枠内を記入して下さい。
翌年度5月1日 以降
現年度歳入組入
上記金額を領収しました。
領収日付等
(収納機関用)
納付の目的(上記金額の内訳)
期別の表示
全期・1(初)期… 1
2期…… 2
3期…… 3
4期(翌年度第1期)
…… 4
1. 年度 概算 期
2.
増加概算… 1
科率引上… 2
3. 年度 確定
4.
保険料等… 1
追徴金… 3
延滞金… 5
あわせて納付… 7
(氏名)
殿

第三片


納付書・領収証書
労働保険
国庫金
取扱庁名
※取扱庁番号
労働保険特別会計
厚生労働省所管
年度
労働保険番号
都道府県
所掌
管轄
基幹番号
枝番号
※CD
※会計年度
元号
年度
※徴定年度
元号
年度
徴収期定
保険料収入、一般拠出金収入及び雑収入
※取納区分
※超法区分
※登録区分
※証券受領
金部
一部
納付額
十
億
千
百
十
万
千
百
十
円
(住所)〒
(氏名)
殿
※
内
証券受領
円
❶第3片裏面の注意事項をよく読んで、太線の枠内を記入して下さい。
期別の表示
全期・1(初)期… 1
2期…… 2
3期…… 3
4期(翌年度第1期)
…… 4
納付の目的(上記金額の内訳)
1.
年度概算
期
2.
増加概算… 1
料率引上… 2
3.
年度確定
4.
保険料等… 1
追徴金… 3
延滞金… 5
あわせて納付… 7
翌年度5月1日 以降
現年度歳入組入
上記金額を領収しました。
領収日付等
納付の場所 日本銀行(本店・支店・代理店又は歳入代理店)
所轄都道府県労働局、所轄労働基準監督署
(納付者渡し)

第三片裏面

注意事項

1　※印のついた欄は記載しないで下さい。

2　納付額を記入するときは、必ずその前に「￥」記号を付して下さい。

3　この納付書は、３枚１組となっていますから、３枚とも納付の場所に提出して下さい。

備考

1　用紙の寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとする。

2　各片は、左端をのり付けその他の方法により接続するものとする。

3　別紙第４号書式の備考４、14及び15は本書式に準用する。この場合において、別紙第４号書式の備考４中「取扱庁名欄の番号」とあるのは「取扱庁番号欄」と読み替えるものとする。

4　労働保険料完納後、延滞金の未納額について納付の請求をするときは、「納付目的」欄は、未納に係る延滞金の計算期間を示し、直ちに納付すべき旨を記載するものとする。一般拠出金についても同様とする。

5　住所氏名欄は、左端から8.8cm、上端から5.1cmの部分に縦4.7cm、横８cmの大きさで設けること。

6　納入者に本書式に係る納付情報により納付させようとするときは、当該納付に必要な事項を記載すること。

7　必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の調整を加えることができる。

8　日本産業規格Ｘ0012（情報処理用語（データ媒体、記憶装置及び関連装置））に規定する非衝撃式印字装置により印字するときは、２にかかわらず、連続して接続した各片に共通する事項を印字する方法によることができる。